

平成26年度第3回独立行政法人労働安全衛生総合研究所契約監視委員会（概要）

日時：平成27年3月25日（水）14：00～14：50

場所：独立行政法人労働者健康福祉機構本部18階会議室

委員：田極 春美（三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）主任研究員）

竹内 啓博（公認会計士）

山本 勲（慶應義塾大学商学部准教授）

海野 哲也（独立行政法人労働安全衛生総合研究所監事）

藤川 裕紀子（独立行政法人労働安全衛生総合研究所監事（非常勤））

審議対象：

競争性のある契約について（平成27年1月～2月に入札・契約締結し一者応札・一者応募となった案件）

審議概要：（委員 ○、事務局 ●）

【整理番号1】平成27年度（登戸地区）実験動物管理業務の委託

- 研究のため動物実験を行っており、実験動物の管理について専門業者に業務委託するもの。入札公告期間を十分に確保し、複数の業者に参加を呼びかけたものの、結果的に一者応札となった。
- 入札結果は、予定価格に達するまで3度の再度入札を行ったものの不落札となった。そのため、入札参加業者に仕様書の詳細を説明し、見積書を徴取したところ、予定価格の範囲内であったため、当研究所会計規程第40条第5号の規程により、随意契約を締結した。
- 応札した業者のほかに、参入できる業者は存在するか。
- 存在する。声掛けを行った他の業者にヒアリングしたところ、業務に必要な人員を確保できなかったため、参加しなかったとのことであった。
- 昨今、人手不足や人件費を高くしないと人が集まらないといった状況もあるので、予定価格が下がっていくと厳しくなってくるかと思う。ただし、参入が見込まれる業者に今後も広くPRを行うこと。

【整理番号2】平成27年度（登戸地区）汚水処理装置保守点検及び水質分析業務委託

- 実験動物のし尿等の汚水を浄化処理する装置の保守点検及び下水の水質分析を委託するもの。入札公告期間を十分に確保し、複数の業者に参加を呼びかけたものの、結果的に一者応札となった。
- 応札した業者のほかに、参入できる業者は存在するか。
- 存在するが、本件も整理番号1と同様、委託業務を履行するために人員を配置し

なければならず、人員の都合がつかない場合は、参加してこないと考えられる。

- 整理番号1、2とも人員の都合が原因とのことであるが、他に参入を難しくしている要素が本当にないか、ヒアリングできると良いだろう。
- 落札業者の人員確保の期間を確保するため、入札時期を早めることを検討すること。
- 本件のように毎年度継続して実施する業務については、複数年度の契約とすることで参入しやすくなるかもしれないので、検討すること。
- 落札率がかなり低い、予定価格の算定に当たっては、前年実績の金額を考慮した積算となるよう検討すること。

【整理番号3】 エリオニクス社製フィールドエミッション走査型電子顕微鏡電子銃チップ交換及び調整作業

- 電子顕微鏡を使用するために電子を発生させる装置（電子銃）が必要であり、1年毎の交換を要するもの。製造メーカー以外の作業は難しい特殊な案件であり、他社が入札に参加せず一者応札となった。
- 特殊な案件であり、一者応札についてはやむを得ないと推察できる。

【整理番号4】 凝縮粒子カウンター

- ナノマテリアル粉じんの粒径分布を取得し、粒径別に凝縮粒子の比重分布を取得するためのもの。入札公告期間を十分に確保、同等品での参加も可能とし、複数の業者に参加を呼びかけたものの、結果的に一者応札となった。

【整理番号5】 連続血圧・血行動態測定装置

- 長時間作業による血行動態に及ぼす影響を解明するため、作業者に負担の少ない状態で連続的に多種の心血管系指標を測定できる機器を購入するもの。入札公告期間を十分に確保、同等品での参加も可能とし、複数の業者に参加を呼びかけたものの、結果的に一者応札となった。

【整理番号6】 マクロIR顕微鏡システム

- 肺組織中に沈着した酸化ベリリウムナノ粒子の正確な定量評価を行うための機器を購入するもの。入札公告期間を十分に確保し、複数の業者に参加を呼びかけたものの、結果として一者応札となった。

【整理番号7】 腕時計形睡眠計測器

- 客観的な睡眠の質や疲労度を測定するための機器を購入するもの。入札公告期間を十分に確保したものの、入札当日は参加者がおらず、再度入札公告を公示し再度

公告入札を実施したが、結果的に一者応札となった。

【整理番号4～7】について

- 仕様書でひとつのメーカーの製品名を明記しており、業者が応札を検討する際、その製品に固執してしまうことにつながる。特定しなければならない理由がない限り製品名は伏せ仕様のみ明記するか、複数の候補があれば併記する等の工夫を検討すること。
- 入札公告が多くの人目にとまるような工夫はできないか。例えば、厚生労働省のホームページであればこまめにチェックする業者も多いと思うが、研究所が今こういう機器を必要としているというのはなかなか気付かれないのではないか。
- 現状、研究所のホームページに掲載するほか、厚労省の掲示板にも公告を貼らせてもらっている。インターネット上の様々な機関の入札情報を検索するサイトもあり、気を付けて見ていれば目に止まるような環境にはあると考えている。
- 一者応札がやむを得ないとしても、落札価格はなるべく下げられるよう予定価格の積算方法を工夫すること。